

広陵町自治基本条例推進会議部会

(計画推進部会・条例周知部会) 議事録要約

■ 部会の目的・概要

自治基本条例推進会議ではまちづくりに関する全体的な議論となることから。活発で具体的な議論を行うため、部会を設置し、それぞれのテーマで話し合っていました。

今回の推進会議の議事の元となる議論が交わされましたので、要約してお伝えします。

■ 開催日

計画推進部会 (令和5年9月27日・10月12日)

条例周知部会 (令和5年9月29日・10月11日)

■ 議事録要約

1 計画推進部会

【資料1 関係】

・(概要) 資料1は、関係団体・補助団体、審議会・委員会や町民、団体、ボランティア等が参画し、町と協働できそうな事業を抜粋し、その実施状況を評価したものである。今年度は初めてだったので行政の自己評価のみとし、来年度以降は協働する相手の評価も入れてもらう。なお、最下段の「協働する相手の意見」については、実際に聞いていないがそのように言及するであろう、という予測も入れている。

→ (委員) 協働する相手の意見について、相手に聞いていないなら空白にすべきでは。

→ (事務局) 空白にすべきという意見も理解できる。ただ、職員に「今後こういう意見を相手に聞いて欲しい」という意識付けのため、「相手が言及するであろう」内容を記載してもらっている。

【資料2 関係】

・(概要) 資料2は、広陵町が設置する審議会や委員会等について、公募委員を募集しているか、公募委員割合はどれくらいかを調査したものである。確認した44のうち委員があるのは42。そのうち公募委員が入っているのは8で

ある。

- ・(委員) 公募委員を各審議会等で募集すべき。
- (事務局) 協働のまちづくり推進課から各課に委員の門戸を広げてもらうよう伝えていく。
- ・(委員) 次回の推進会議で公募のあり方や規定に関して議論してもらえれば。
- (委員) 条例制定から2年経っている。職員も住民もお互いの意識を変えていくことが必要。
- ・(中川会長) 公募を入れることで実態が見える(例: 民生委員推薦会→民生委員は女性が多いのに、推薦会は男性が多い)。
- ・(中川会長) 「公募委員にそぐわない」のはその執行に権利義務が発生しているもの、個人情報が含まれているもの。「2公募にそぐわない審議会等のため」ではなく「今後入れることを検討したい」という選択肢にしてはどうか。

【資料4関係】

- ・(委員) パブリックコメントが各課で実施状況がバラバラとなっている。実施規則みたいなものを定めるべきでは。
 - (中川会長) 広陵町も自治基本条例にパブリックコメント(第31条)を規定している。担当職員に意識を持たせるよう(協働のまちづくり推進課から)全庁的に進めてほしい。宝塚市や西宮市はパブリックコメント条例を定めている。
- ※今回、資料4のように参画と協働を職員に意識してもらうためのハンドブック(たたき台)を作成した。

【その他周知関係】

- ・(委員) ボランティア団体どうしの発表会・勉強会を聴くと、さまざまな活動をされていることを知った。多くの人(対象事業の関係者)もその勉強会に参加してもらえればよいと思う。
- (委員) 情報共有できる場の創出を。それがイベントなのか勉強会なのかは、それぞれで考えていきたい。
- ・(中川会長) 周知の方法について。すべての人がまちづくりのことを学ぶのは不可能。全住民の10%の受講比率でかまわない。全住民の1%がこの町を大好きになるとともに、まちづくりの仕組みを理解していれば、本当に町が動く。全体に広めて効果があるのは小中学校まで。大人はピックアップして選択する。

2 条例周知部会

【資料5関係】

- ・(委員)「K. S. H.」は、自治基本条例の周知が当初の目的だったはず。しかし、今回のイベントではあまり見えなかった。イベントの楽しみだけで終わらないように。他のイベントでもやっているのに、わざわざこのイベントをする必要があるのか。かぐや姫まつりや文化祭と合同開催すればよいのでは。
- (事務局)今回いただいた意見を踏まえ、今後、イベントは別のイベントと集約することを検討したい。本来の自治基本条例の周知は、イベント以外の例えばワークショップなどを開催してもいいのかもしれない。そういったことを今後推進会議やまずはやってみる会で検討していきたいと思っている。
- ・(委員)大きなイベントになるとテーマがあやふやになってしまう。
- (事務局)テーマを決めて絞り、その事業を行うためのまちづくりは何だろう？と考え、説明と体験を合わせるのがよい。
- ・(委員)町内の周知を考えると町民が多く来る文化祭で実施すればどうか。
- (事務局)他イベントとのコラボは可能。長龍ブリューパークで実施したのは、北校区の方が来るだけでも良いと考えた。今後、別の地域でも実施できればと思っている。

【パンフレット関係】

- ・(委員)北海道釧路市では映像で条例を紹介していた。図書館で見られる。広陵町でも動画を撮影してはどうか。今の子どもは動画でみる。
- (事務局)委員さんに出演していただいたり、撮影や編集が得意な方をお願いしたりして協働で作成したい。
- (委員)動画もよいが、最近は本を読まない子どもが増えたため、パンフレットで字を見てもらうことも子どもには大切と思う。
- ・(事務局)中川会長から、世代別、地区別、分野別の啓発が必要と伺った。パンフレットを用いて各団体への出前講座も町からさせていただく。実施の際には推進会議委員の皆さんにも一緒に参画していただきたい。

【その他周知関係】

- ・(事務局)まちづくりについて重点的に伝える世代があると思うが。
- (委員)子どもと高齢者だろう。
- ・(委員)「参加」の人は多いが、「参画」は少ない。運営側をやってみたら意外と面白いことが多い。そういうことも伝えていきたい。